

11. 豊後高田市 申請資料抜粋

地域のプロジェクト名	パーフェクトビーチを核とした癒しの里海ヘルスツーリズム事業
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	大分県豊後高田市
1. ご当地・施設の特徴	<p>豊後高田市は、リアス式海岸や遠浅の砂浜に広がる風光明媚な海岸線を有しており、その海岸線を走る国道213号沿線には、昭和30年代の雰囲気而今に残すノスタルジックな「昭和の町」や日本夕陽百選に選ばれた「真玉海岸」、縁結びの神様「粟嶋社」、春に2,200万本の菜の花、夏には160万本のひまわりが咲き誇る九州最大級の花公園「花とアートの岬 長崎鼻」など、女性の嗜好にあった観光スポットが点在している。これらの観光スポットを有機的に結びつけストーリー性を持たせることで、新たな付加価値を創出し誘客促進につなげるため、平成25年度に「昭和の町」から「長崎鼻」までの海辺の道約20kmを「恋が叶う道＝恋叶(こいかな)ロード」(平成28年1月NPO法人地域活性化支援センターの「恋人の聖地」に選定)と銘打ち、現在、主に都市部の女性を中心とした若年層をメインターゲットとして、官民をあげて地方創生に資する誘客促進事業を展開している。</p> <p>今回の取組の舞台となる長崎鼻は、以前は一面に耕作放棄地が広がっていたが、平成19年から地元有志が中心となり、耕作放棄地にひまわりの作付けを始めた。</p> <p>平成22年には、長崎鼻と地域の共生を築き、地域社会の活性化を図ることを目的として「長崎鼻B・Kネット」が設立され、以降本格的に耕作放棄地再生事業に取り組み、徐々に花畑として再生していった。現在では約16haの花畑が広がり、九州最大級の花公園となっている。</p> <p>ひまわり、菜の花の作付けには、農薬や化学肥料を一切使用しない環境にやさしい栽培にこだわり、平成25年には長崎鼻に、国内外の著名なアーティストによるアート作品が誕生し、アートと自然・花の融合による五感空間のブランド化が進んだ。</p> <p>また、花による観光再生だけでなく花によるオイル(菜の花油、ひわまり油など)を創出。現在、商品開発で価値あるオイルを製造、販路を拡大している。</p>
2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて	<p>本市を代表する観光地の一つに成長した長崎鼻ではあるが、個性的で魅力的ではあるものの、花の咲く季節や夏場のハイシーズンのみ賑わう観光地で、通年型観光地として訴求力が弱い点が課題となっていた。</p> <p>そこで、長崎鼻や周辺の恵まれた地域資源を新たな視点で組み合わせることによって、新しい価値を創出し、滞在型観光地へと転換できないか検討を重ねた結果、長崎鼻の美しい海、温泉、健康食材に着目。他にはない豊後高田市オリジナルの複合型ヘルスツーリズムの確立を活動目標に、地域活性化を目指すこととした。</p>
3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて	海辺の活用として、比較的コンパクトでモデル事業に最適な長

崎鼻リゾートキャンプ場を核に「安全・清潔・快適な海水浴場（パーフェクトビーチ）」を整備し、活性化を目指すこととした。

あわせて、ヨーロッパを中心に実施されている海洋療法（タラソテラピー）と温泉療法のノウハウを導入することで、特色ある海、温泉、健康食などの小規模な地域資源を新たな視点で統合させ、豊後高田市オリジナルの複合型ヘルスツーリズムの確立を目指す「パーフェクトビーチ構想」を掲げた。

実施主体は、「NPO法人長崎鼻B・Kネット」や、市観光協会などが構成団体となる「パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会」が担い、国内でも類を見ない先導性が高い事業であったため、「パーフェクトビーチ構想」については「学校法人東海大学海洋学部」、タラソテラピーについては「一般社団法人日仏温泉・タラソテラピー・文化振興会SPALOHAS倶楽部」にそれぞれ事業監修や実施を委託。また、海辺の環境整備や誘客促進、管理運営については、全国で地方創生事業に取り組むベンチャー企業「株式会社ファウンディングベース」に委託。より実行性の高い取組となるように官民協働で事業を展開した。

まず、海辺の環境整備として、宿泊施設となるキャンピングトレーラーやグランピングテントを整備。併せて多用途で活用できるバーベキューサイトを整備するなど、ビーチの付加価値を高めるハード事業を実施した。

海辺の環境整備と並行して取り組んだのが、ヘルスツーリズムの核となるタラソテラピーの取組である。ハコモノに頼らない既存の資源を活用したフィールド型タラソテラピーとして、「リラクゼーション」、「アクティビティ」、「食のメニュー開発」の3部門で取り組んだ。

「リラクゼーション」では、160万本のひまわりが咲き誇る長崎鼻の強みを活かし、ひまわりの種子を低温圧搾法で抽出したオイルと地元産の無農薬カボスの精油を使った「ウエルカムトリートメント」を開発。地元女性を中心に施術者を募集し、養成とレベルアップに努めた。

「アクティビティ」では、サンドウォークやSUPヨガなどの健康体験プログラムを構築し、「食のメニュー開発」では、地元の健康食材である長命草などを使用したメニューを開発。これらを組み合わせた体験プログラムの商品化を図った。

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



(説明文)

九州最大級の花公園 長崎鼻のひまわり。
春には2,200万本の菜の花、夏には160万本のひまわりが咲き誇る。その他にコスモスやつわぶき、紫陽花など、一年を通して花が楽しめる。



(説明文)

160万本のひまわりが咲き誇る長崎鼻の強みを活かし、ひまわりの種子を低温圧搾法で抽出したオイルと地元産の無農薬カボスの精油を使った「ウエルカムトリートメント」



(説明文)

タラソセラピーのリラクゼーションの様子。
ひまわりオイルを使用したリラクゼーション。
施術者は地元女性を中心に雇用。技術のレベルアップのため、定期的に研修を行っている。



(説明文)

タラソセラピーのアクティビティの様子。
長崎鼻の穏やかなビーチでSUPヨガをメニュー化している。その他、近隣の真玉海岸ではサンセットヨガも実施している。



(説明文)

地元の健康食材である長命草や落花生を使用したファラフェルランチ。リラクゼーション、アクティビティ、ランチを組み合わせた体験プログラムを商品化している。



(説明文)

海まで徒歩10秒という非日常空間での宿泊を可能とした海辺のキャンピングトレーラー。7台設置しているほか、グランピングテントでの宿泊も可能。BBQ専用サイトも設置。